

コロナ禍における文化芸術活動支援

令和2年度第3次補正予算額 370億円



事業趣旨

「新たな日常」における文化芸術関係団体等による積極的な活動の支援を行うほか、文化施設のコロナ禍の新たな活動に向けた環境整備に必要な経費等の支援を行うため、以下の事業を実施する。

実施事業概要

■ コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業

250億円

新型コロナウイルスにより、文化芸術活動の自粛を余儀なくされた文化芸術関係団体において、感染対策を十分に実施した上で、積極的に公演等を開催し、文化芸術振興の幅広い担い手を巻き込みつつ、「新たな日常」における新しい文化芸術活動のイノベーションを促すとともに、活動の持続可能性の強化に資する取組を支援する。

■ 文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業

50億円

劇場・音楽堂等、博物館の文化施設における公演や展覧等の実施に際して、感染症防止対策のガイドラインを踏まえた取組への支援を行う。また、コロナ禍の「新たな活動」に向けた文化施設の配信等に必要な機材等の環境整備の支援を行う。

■ 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン

70億円

大規模で質の高い日本の文化芸術水準を向上させるような公演等を支援し、需要喚起や業界全体の活性化を図る。また、地域の文化芸術関係団体・芸術家を中心として、舞台芸術・メディア芸術・伝統芸能・生活文化・国際文化交流等の公演や展示・展覧会等を開催し、地域の文化芸術の振興を推進する。

事業の概要

新型コロナウイルスにより、文化芸術活動の自粛を余儀なくされた文化芸術関係団体において、感染対策を十分に実施した上で、積極的に公演等を開催し、文化芸術振興の幅広い担い手を巻き込みつつ、「新たな日常」ウィズコロナ時代における新しい文化芸術活動のイノベーションを図るとともに、活動の持続可能性の強化に資する取組を支援する。

支援の対象となる文化芸術活動・支援対象となる取組

- ◆ 対象：文化芸術関係団体・文化施設（公演等の開催に資金面での責任を持つ者）
 - ◆ 分野：文化芸術基本法第8条～第12条に定める文化芸術分野
 - ◆ 条件：不特定多数に公開することによって収入を上げることを前提とした積極的な活動であること
 - ◆ 取組：
 - (1) 公演・演奏会・コンサート・ライブ、展覧会等を開催すること
 - (2) その際、下記のような文化芸術活動のイノベーションを図るような取組を行うこと
 - ・他の文化芸術団体とコラボレーションし、公演を実施すること
 - ・新たな専門性を有する実演家等を招聘し公演を実施すること
 - ・これまで訪問したことのない地域や文化施設（劇場・音楽堂等）で公演を実施すること
 - ・オンライン配信やyou tubeの投稿等、これまで実施していなかった客層へアプローチすること
- * 申請時に事業計画書の提出を求め、上記のような「積極的な活動」が含まれていることを確認するものとする。

文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業

令和2年度第3次補正予算額 50億円



概要

新型コロナウイルス感染症は、令和2年度後半期においても感染者数の増加など、感染対策は必要不可欠な状況となっており、**劇場・音楽堂等、博物館の文化施設における公演や展覧等の実施に際して、感染症防止対策のガイドラインを踏まえた取組への支援**を行う。また、コロナ禍の「新たな活動」に向けた文化施設の配信等に必要な機材等の環境整備の支援を行う。

支援 内容

劇場・音楽堂等、博物館が**感染のおそれのある発熱者確認のための赤外線カメラや会場の換気を行うための空気清浄機等の感染症予防経費、施設内の清掃等の施設管理、文化施設のチケットレス・キャッシュレス環境整備、空調・抗菌設備等の改修経費等**を支援する。

また、「新たな日常」における文化施設の配信等に**必要な機材等の経費**を支援する。

(事業内容)

(1)感染対策事業

- ・感染対策消耗品、赤外線カメラ、空気清浄機等の確保、空気汚染モニタリング等のガイドライン対策 など

(2)環境整備事業

- ・施設・整備の抗菌等の定期清掃
- ・オンラインチケット・キャッシュレス決済の導入



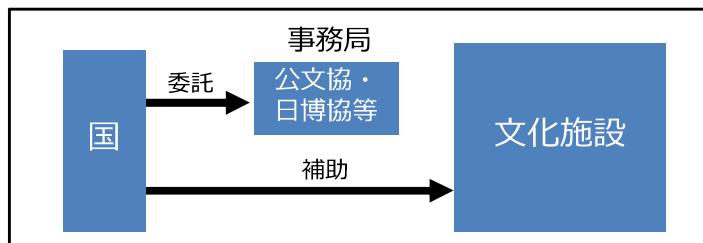
(3)空調設備等の改修事業

- ・空調設備の改修、トイレ等の抗菌改修工事 など

(4)配信等環境整備事業

- ・配信機材等の確保、システム環境、課金システム環境、プラットフォーム環境の整備 など

スキーム



補助

■補助事業者
文化施設（設置者・管理者）等

■補助金額
予算の範囲内で補助対象経費の1／2

※事務委託費等：103百万円

大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン

令和2年度第3次補正予算額 70億円



概要

大規模で質の高い日本の文化芸術水準を向上させるような公演等を支援し、文化芸術の質の向上と文化芸術の重要性や魅力を発信することにより、新型コロナウィルスの感染拡大による萎縮効果を乗り越え、需要喚起や業界全体の活性化を図る。

また、活動自粛を余儀なくされた地域の文化芸術関係団体・芸術家を中心として、文化芸術関係者の力を合わせ、舞台芸術・メディア芸術・伝統芸能・生活文化・国際文化交流等の公演や展示・展覧会等を開催し、コロナ禍における地域の文化芸術の振興を推進する。

事業の内容

(1) 全国規模の文化芸術統括団体による公演等の実施

- ①補助対象者
全国規模の文化芸術統括団体（9団体程度）
- ②実施内容
大規模で質の高い公演等の支援（定額補助）
- ③実施地域
全国13都市程度

(2) 地域の文化芸術関係団体・芸術家による公演等の実施

- ①補助対象者
地域の文化芸術関係団体・芸術家を含む芸術団体等
- ②実施内容
 - ・舞台芸術・メディア芸術・伝統芸能・生活文化・国際文化交流の公演や展示・展覧会等の支援
 - ・障害者を含む多種多様な子供の文化体験・発表機会等の確保の支援（いずれも定額補助）
- ③実施地域
全国20地域で開催



期待される事業効果

アートキャラバンの
開催

- ・関係者の連携により
- ・質の高い公演等の実施
- ・一般の関心を文化芸術に高める公演等の実施
- ・今後の収益向上につながる公演等の実施

- ・文化芸術に対する需要喚起
- ・文化芸術活動における適切なコロナ対策の実施
- ・特色ある地域文化の全国発信
- ・文化芸術活動への関心・熱意を取り戻す

- ・業界全体や国内の文化芸術活動の活性化
- ・コロナ禍における持続可能で安心な文化芸術の発信
- ・我が国全体の文化芸術関係団体のネットワーク構築
- ・地域の文化芸術関係団体等のレベルアップ、活性化
- ・都道府県の知名度・イメージの向上
- ・地域経済活性化・観光集客の向上

子供の文化芸術の鑑賞・体験等総合パッケージ

令和2年度第3次補正予算額 40億円  文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

① 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響下において、学校内外で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験・修得をする機会が多く失われてしまっている。このため劇場・音楽堂や学校等、様々な場所で子供が伝統文化や実演芸術等の多様な文化芸術の鑑賞・体験等が享受できる機会を提供する。

② 施策の概要

コロナ禍において子供たちが劇場・音楽堂や学校等で多様な文化芸術の鑑賞・体験等が享受できる機会を提供する。

③ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等

1. コロナ禍において学校、公民館や文化会館等で行う文化芸術の鑑賞・体験等を新たに提供する。
2. 地域の中核となる劇場・音楽堂等で行う、子供たちの実演芸術の鑑賞・体験等を支援する。

①子供への文化芸術鑑賞・体験機会の提供

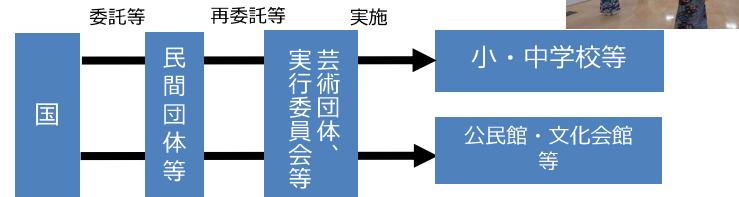
- ・子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業
- ・子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業

実施主体:優れた文化芸術団体、自治体と関係団体が連携する実行委員会等

実施内容:実演芸術等(オーケストラ、児童演劇、能楽等)、

伝統文化等体験・修得の教室の実施

実施場所:小・中学校等の体育館、公民館、文化会館等



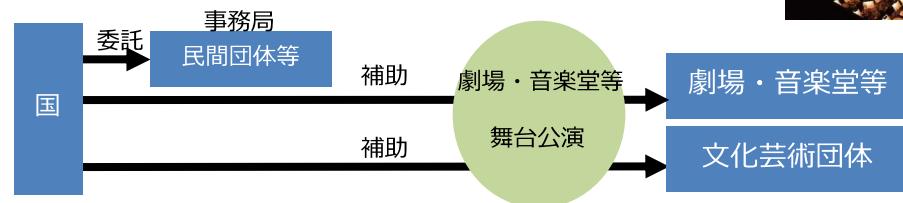
②劇場・音楽堂等の子供への実演芸術の鑑賞・体験への支援

・劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業

実施主体:劇場・音楽堂等、文化芸術団体

実施内容:劇場・音楽堂等で行われる、子供たちの鑑賞・体験しやすいサービス等を提供する公演を実施

実施場所:劇場・音楽堂等



④ 成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

- 学校教育活動における新型コロナウイルス感染症の拡大防止
 - ・複数回公演を実施することによる3密回避
 - ・オンラインでの開催 等

- 体験・修得機会や広報等のデジタル化の推進
 - ・オンライン教室等の実施環境が組織的・広域的に展開

- 子供の資質向上とそれに伴う文化芸術活動の強化
 - ・豊かな創造力・想像力を育成
 - ・将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術活動の発展や需要喚起につなげる
 - ・伝統文化等の継承・発展

事業の概要

厳しさの続く新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、文化庁を中心とした関係府省や地方自治体、文化施設、民間団体等の関係者の総力を結集した大型国家プロジェクトである「日本博」において、感染症拡大防止対策やコロナ禍においても文化芸術の魅力発信・誘客効果を高めることができるような工夫を講じて企画・実施される新規性・創造性が高い文化芸術プロジェクトを支援するとともに、国内外への戦略的プロモーションを積極的に行い、インバウンド需要回復や国内観光需要の一層の喚起、「文化芸術立国」の基盤強化、文化による「国家ブランディング」の強化等を図る。

○日本博総合推進会議（第2回）【令和2年3月12日開催】<総理発言（関係部分抜粋）>

残念ながら、今週予定されていた日本博オープニング・セレモニーは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、開催を中止することといたしました。

現在は、感染の拡大防止に全力を挙げておりますが、収束が視野に入った段階では、日本の素晴らしさを国際社会に向けアピールするため、日本博を、一層強力に推進していくことといたします。

このため、本日委員の皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、日本博が縄文時代から現代まで続く「日本の美」を各分野にわたって体系的に展開する試みとして、より充実した内容となるよう、文化庁が中心となって、関係府省が連携して、さらに取組を進めてください。

○日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議（第3回）【令和2年9月10日開催】<岡田副長官発言（関係部分抜粋）>

縄文時代から現代まで続く「日本の美」を国内外に向けて発信する「日本博」の重要性は、この国難とも言える状況下においても何ら変わることはありません。そのような考えのもと、主催者の様々な感染防止対策等の努力により実施されるプロジェクトも出てきており、さらには映像コンテンツの活用による発信など、これまでになかった斬新な取組も行われています。（中略）

日本博も、来年度を新たな本番の年とし、また来年度以降における成功を確実なものとするため、本日お集りの皆様をはじめとする関係者の総力の結集を改めてお願い申し上げます。（中略）

日本博の持つ意味は新型コロナウイルス感染症によって減少するのではなく、ますます重大になっています。（中略）日本博がより充実した内容となるよう政府一丸となって推進していただきたい。

ウィズコロナ時代における日本博の取組

○地域が誇る様々な文化観光資源の特色を生かして新たに企画する展示や公演、体験型プログラムの創出など日本文化の魅力を体感できる取組に加え、国内外の多くの方々が自宅等でも日本博を楽しむことができるよう、最新技術などを活用した映像コンテンツの制作、戦略的な国内外への発信に積極的に取り組む。

<二条城を360° VRコンテンツとして配信>

©2020 naked inc.



VRゴーグル（イメージ）



『ヴァーチャルガイド「NAKED SAMURAI & NINJA」』

<浮世絵と和食のデジタル展覧会>



『おいしい浮世絵展～北斎 広重 国芳たちが描いた 江戸の味わい～』

<インフルエンサーによる花火のYouTube配信>



『みんなの花火～障害者も健常者も一緒に楽しめる花火～』

<北陸の伝統工芸の工房から映像コンテンツ配信>



『GO FOR KOGEI -北陸で出会う、工芸の可能性-』

<東北の祭映像コンテンツ発信>



『東北の6つの伝統的夏祭が一体となった
「東北祭まつり」による東北の復興、魅力発信プロジェクト』

<日本博ステージのライブ配信>



©マイナビ
TGC 2020
A/W
ONLINE

『TGC×地域文化資産』

事業の概要

文化庁を中心とした関係府省や地方自治体、文化施設、民間団体等の関係者の総力を結集した大型国家プロジェクトである「日本博」において、地域が誇る様々な文化を国内外へ発信し、**国内観光需要の一層の喚起やインバウンド需要回復を図り、地方への誘客を促進するとともに、新型コロナウィルス感染症により甚大な打撃を受けた、地域の文化芸術活動の新たな取組等を支援し、再開・継続・発展を強力に後押しし地域の文化芸術の振興及び地域経済の活性化に寄与する。**

文化資源活用推進事業

地方自治体が主体となり、地域住民や地域の芸・産学官とともに取り組む、地域の文化芸術資源を活用した文化芸術事業であって、**地方への誘客を促進し、ポストコロナ時代の新しい文化芸術活動等の構築**に取り組む事業を支援

【 補助対象事業者：地方公共団体（15事業程度）、補助金上限額：1億円（補助率1／2）】

創造県おおいた国際発信事業
(大分県)



関口光太郎によるワークショップの様子



関口光太郎 作「混浴へ参加するよう世界を導く自由な薬師如来」

京都の美・日本の美・百科爛漫
～日本の博覧会150年紀～(京都市)



《硝子の茶室 間鳥庵》ヴェルサイユ宮殿での展示風景、2018年©Hiroshi Sugimoto
Architects: New Material Research Laboratory / Hiroshi Sugimoto + Tomoyuki Sakakida.
Originally commissioned for LE STANZE DEL VETRO, Venice / Courtesy of Pentagram
Stiftung & LE STANZE DEL VETRO. The image is from the exhibition "SUGIMOTO
VERSAILLES" organized by Palais de Versailles.

アニメの聖地徳島！
日本博における「マチ★アソビ」を活用した
インバウンドの獲得
強化及び地域活性化事業
(徳島県)



東新町商店街でのコスプレファッションショー

いしかわ・金沢 風と緑
の楽都音楽祭開催事
業(石川県)



寺社での弦楽公演

「大阪文化芸術フェス」
事業 (大阪府)



Welcome to OSAKA (関西国際空港：大阪の文化芸術で外国人の方をおもてなし)

地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

令和2年度第3次補正予算額 2億円

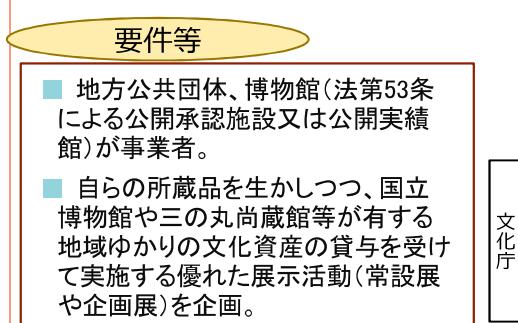


事業趣旨

地方博物館等が、国等が有する「地域ゆかりの文化資産」の貸与を受け、地域の歴史・文化・風土等の魅力的な展示・解説等を整備し、コロナ禍によるインバウンド需要の急激な減少により大きな影響を被った国内観光需要の喚起に取り組む。

事業概要（補助事業）

- 地方博物館等が自らの所蔵品を活かしつつ、文化庁・国立館・三の丸尚蔵館等が有する当該地域にゆかりのある文化資産の貸与を受けて実施する、地域の歴史・文化・風土等をテーマとした展示活動（常設展や企画展）について、貸与に係る費用（輸送費、保険料等）や企画展示、広告宣伝等に係る費用を支援。
- また、レプリカ等を使用した体験型展示等など、国内観光客誘客の取り組みへ支援。



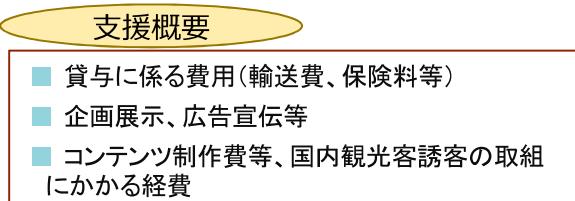
体験型コンテンツ整備など、国内観光客誘客の取組を支援



短刀銘「吉光」（「博多藤四郎」）
(文化庁蔵)



高精細レプリカを活用したハンズオン展示



国民の文化財に対する関心を高め、各地域への来訪者が増加し、経済波及効果の拡充に寄与する。

事業趣旨

全国規模の文化の祭典である「**国民文化祭**」開催地の博物館・美術館等において、三の丸尚蔵館収蔵品を中心とした**国等が有する貴重な文化財を紹介する展覧会を開催**し、この展覧会を通じ、皇室文化への国民の理解の促進、文化の愛護、地方文化の振興による地方創生・国内観光の振興、国内外への日本の美の発信を目指す。

- 宮内庁三の丸尚蔵館は、令和7年度の全館完成を目指して新設工事が進められているが、この期間中にも所蔵する皇室ゆかりの名品を多くの方々の鑑賞に供するべく、政府として積極的な地方展開を進める一環の事業。

事業概要等

- 文化庁は、宮内庁と連携しながら、同祭典開催予定都道府県と協議の上、開催館を決定し、同館への作品輸送（輸送にかかる保険契約を含む）や展覧会にかかるリーフレットを作成する。

※宮内庁：開催館と具体的な貸与作品を調整する。

※開催館：会場パネルやポスター等の制作、会場設営及び運営を実施。



【負担：作品輸送・保険、
リーフレット作成】

- ✓ 国民文化祭開催予定県と協議し、開催館を決定



【負担：会場パネル・ポスター等制作、会場設営】



✓ 開催館と具体的な貸与作品の調整等

貸与作品イメージ



伝岩佐又兵衛筆
「源氏物語図屏風」



大垣昌訓
「網代薦蒔絵棚」

皇室文化の理解、文化財の愛護、地方創生、国内観光の振興に資する

趣旨

新型コロナウイルス感染症拡大によって打撃を受けた地域の伝統行事や民俗芸能を支援し、地域の無形文化遺産の継承を図ることにより、地域の魅力を高め、文化振興・地域活性化を推進する。



地域無形文化遺産は、地域の人々の心の絆や地域社会の連携の強化に資するだけでなく、重要な観光資源ともなっている。

- ・コロナ禍により、日本各地の伝統行事等が相次いで中止
- ・伝統行事等の中止による経済損失は莫大



事業概要

コロナ禍において危機的な状況になっている地域の無形文化遺産に対して、**デジタル化やオンライン配信**等、**早急に新しい生活様式に対応した継承基盤を整備すること**によって、国内観光の需要喚起及びインバウンドの回復に向けて地域の魅力を発信するなど、地域無形文化遺産を活用した効果的な取り組みを支援する。



<支援内容>

- 地域の無形文化遺産の魅力を発信するPR動画の作成
- 地域の無形文化遺産を紹介する専用サイトの開設
- 地域の伝統行事や民俗芸能等のオンラインでのライブ等配信
- 稽古など継承のためのリモート指導の導入
- 地域の無形文化遺産の魅力発信のためのアーカイブ作成・権利処理
- 地域の無形文化遺産継承のための相談窓口の整備
- 等



文化資源の高付加価値化の促進

令和2年度第3次補正予算額 8億円



趣旨

ポストコロナに向け、富裕層など上質な観光サービスを求め、これに相応の対価を支払う旅行者の滞在・消費の促進が急務となっていることを踏まえ、こうした旅行者の長期滞在・消費拡大に向け、文化施設や文化資源の高付加価値化を促進し、「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環を創出する。

事業内容

博物館等の文化施設における夜間の特別解説ツアーの実施、社寺等の文化資源をユニークベニューとして活用した音楽祭や芸術祭の実施といった、上質な文化観光コンテンツの造成等を支援し、文化施設や文化資源の高付加価値化を促進するとともに、本事業で得られる成果を横展開することで、民間事業者等による更なる取組の促進を図る。

〈文化施設の高付加価値化〉



夜間等の特別解説ツアー等の実施



城泊の実施

〈文化資源の高付加価値化〉

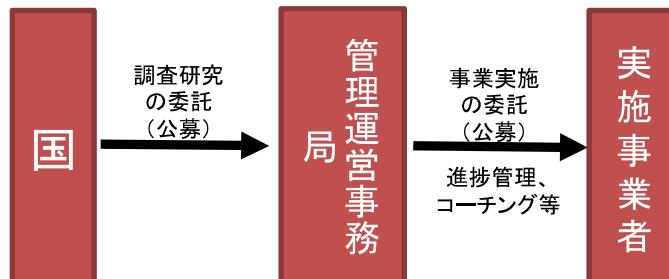


文化資源をユニークベニューとして
活用した音楽祭や芸術祭等の実施



特別な体験の提供

スキーム



事業者

文化施設・文化資源の設置者・管理者、観光地域
づくり法人(DMO)、自治体、民間事業者等

積算

- ・公募事業 700百万円 35件(1件20百万円)
- ・事務委託費、謝金等 100百万円

博物館等の国際交流の促進

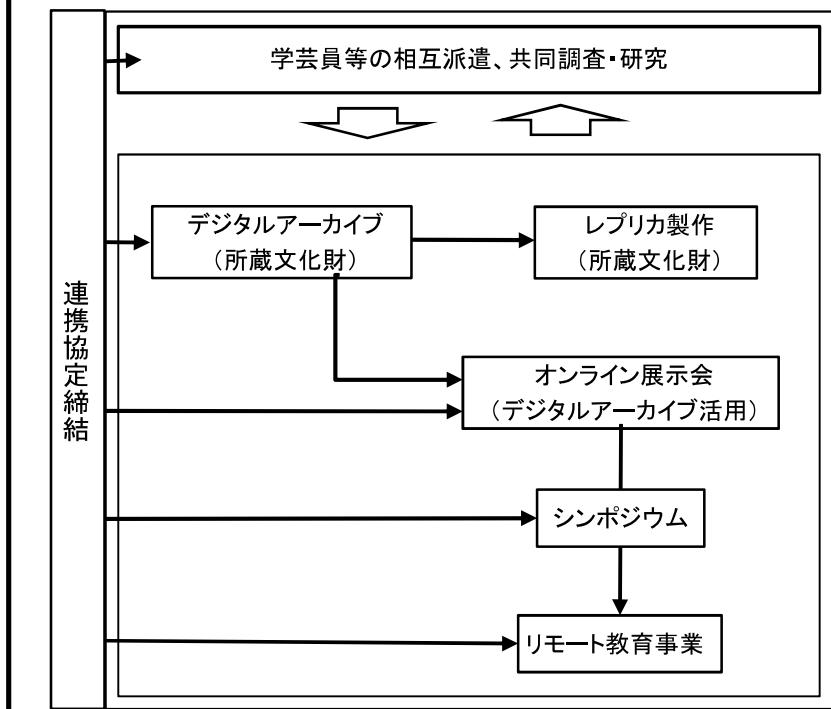
令和2年度第3次補正予算額 4億円 文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

趣旨

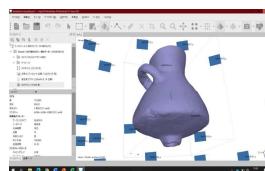
「新たな日常」に対応した収益力の強化等の経営転換や、日本文化の発信機能の強化が重要であることから、海外館と連携し、ポストコロナに向け持続的な国際交流モデルを構築する。コロナ禍においても、デジタル技術を活用した取組を前倒して実施することにより、停滞している国際交流を再び軌道に乗せ、新たな展開を切り拓く。

事業内容

<進め方（イメージ）>



国内博物館と海外館との連携協定に基づく共同研究を進め、双方の所蔵資料をストーリーで結ぶなどコレクションの新たな価値を創出し、文化資源の魅力を増進する。オンラインシステム等のデジタル基盤を構築し、デジタルアーカイブを活用してオンライン展示会や高精度レプリカの製作を行う。シンポジウムやリモート教育など、本事業で得られる成果を横展開することで、博物館等による更なる取組の促進を図る。



3Dモデル製作



オンライン展示会

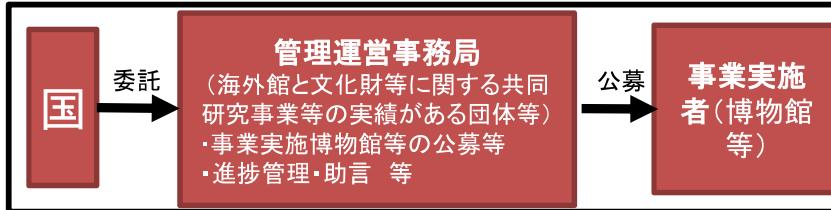


レプリカ製作



リモート教育

スキーム



積算

・公募事業 300百万円
(事業件数 2件程度を想定)
・事務委託費、謝金等 84百万円

(事業概要) 感染症対策に配慮した新たな形態の革新的公演の演出や所蔵作品のデジタル化や発信力強化等、文化施設のナショナルセンターとしての機能を強化し、文化施設の収益構造の転換に広く繋がるような先進的な取組みを強化する。

(補正事由) 感染症拡大の影響により、想定をはるかに上回るレベルで文化施設の収益力が弱っている中にあって、文化施設のナショナルセンターとして、収益構造の転換に広く繋がるような先進的な取組みを早期に強化することはポストコロナに向け波及効果も期待される。

○国立美術館運営費交付金

予算額 2 億円

- ・国立美術館アート・コミュニケーション推進センター（仮称）経費

○日本芸術文化振興会運営費交付金

予算額 9 億円

- ・「アフターコロナ」時代に即した「新しい劇場・公演」創造経費



国土強靭化に資する国立文化施設の施設整備(収蔵庫新営、博物館施設の耐震化、劇場の再整備等)を行い、観覧者等の安心・安全を確保した快適な観覧環境等を実現する。

国立科学博物館施設整備費

予算額 14億円

(事業概要)国立科学博物館の収蔵庫の新営工事費。現在、収蔵率が限界に迫り、安全面での懸念や研究効率の悪化に加え、感染症対策として「密」対策の観点からも問題が生じている状況にあり、収蔵庫の確保が急務となっている。コレクションのさらなる利活用を進め、質の高い展示・学習支援事業等の実施環境を確保。

(補正事由)国立科学博物館のナショナルセンターとして、質の高い展示・学習支援への転換に広く繋がるような環境整備を早期に実施することはポストコロナに向け必要であり、前倒し効果も期待される。

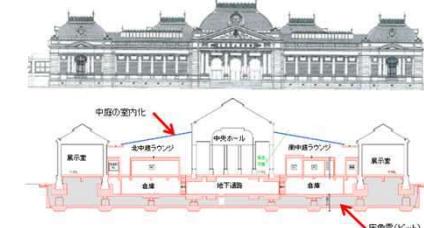


国立文化財機構施設整備費

予算額 1億円

(事業概要)京都国立博物館の耐震改修費(埋蔵文化財発掘調査)。

(補正事由)京都国立博物館は、煉瓦造であり耐震性能が不足している状況であって、国土強靭化の観点から、早期に実施する必要がある。



日本芸術文化振興会施設整備費

予算額 4億円

(事業概要)国立劇場の再整備経費(要求水準書策定)。多くの入場者の安全安心を確保し、アフターコロナにおける新しい観劇環境を整備するもの。

(補正事由)国立劇場の再整備経費についても、強靭化の観点のみならず、ナショナルセンターとして、アフターコロナにおける新しい観劇環境を早期に整備する必要がある。



文化財の防火・防災、修理・整備対策

令和2年度第3次補正予算額 72億円
文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

【概要】

ノートルダム大聖堂や首里城の火災を契機とした緊急状況調査等を踏まえて策定された「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」に基づき、国民共有の貴重な財産である文化財に対して必要な防火・防災対策を行うとともに、耐震対策や国指定等文化財の修理・整備のうち、特に緊急性が高いものを早急に実施する。

【主な対象事業】

- ・重要文化財等防災施設整備事業
- ・歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
- ・伝統的建造物群基盤強化
- ・民俗文化財の保存修理等
- ・国宝重要文化財建造物保存修理強化対策事業
- ・重要な景観保護推進事業
- ・国宝・重要文化財美術工芸品保存修理抜本強化事業

【防火対策】

- ・我が国の文化財の多くは木造であるため**防火対策**は必須
- ・個別の**文化財特性**に応じた防火対策を実施
- ・老朽化した防火施設、毀損した防火施設の更新、再整備が必要
- ・その他盜難等から文化財を護るための防犯施設整備、耐火構造の保存活用施設整備を実施



熊本城(熊本県)

【修理・整備】

文化財は経年による劣化が進行していくため、**適切な周期による保存修理が必要**。国指定等文化財の修理・整備のうち、特に緊急性が高いものに対しての支援を行う。



真田信之霊屋宝殿の屋根部分
(長岡寺)

早期発見

- ・**自動火災報知施設**を設置し迅速に初期消火へ



(炎感知器)



(R型受信機)

初期消火

- ・初期消火、火災の拡大を防ぐための**消火栓施設等**



(易操作性1号消火栓)

延焼防止

- ・近隣火災から護るための**ドレンチャー、放水銃等**



(ドレンチャー設備)

【耐震対策】

地震大国日本では、**文化財価値の保護と利用者の安全確保**のために耐震対策は必須



国宝 阿弥陀如来坐像(淨瑠璃寺)

被災文化財の災害復旧

令和2年度第3次補正予算額 5億円 文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

【概要】

国民共有の貴重な財産である文化財について、令和2年7月豪雨等の自然災害による文化財指定地内の崩落や倒木及び建造物等の棄損によるものについて、周辺住民、来訪者等の安全確保や二次災害防止に向けた災害復旧のための修理・整備を実施する。

【主な事業内容】

- 重要文化財の棄損をくい止め、人的・物的被害拡大を防止するための災害復旧事業を実施。

《重要文化財修理事業》

- 史跡や名勝の指定地内で発生している石積みの崩落、土壌の崩壊等の拡大防止や、倒木等の除去など、人的・物的被害を防止するための災害復旧事業を実施。

《歴史活き活き史跡等総合活用整備事業》



国宝 青井阿蘇神社本殿
(熊本県人吉市)
令和2年7月豪雨による毀損



重要文化財 小諸城三之門
(長野県小諸市)
令和2年7月豪雨による塀の崩壊



史跡 人吉城跡
(熊本県人吉市)
令和2年7月豪雨による土砂崩れ